

地域の住まいの悩みを

木と技術で解決する

JR埼京線の板橋駅周辺は、池袋からわずか1駅だが、戸建住宅やマンションが建ち並び、都心の喧騒とは無縁の穏やかな雰囲気を感じ出している地域だ。(尙)剛建巧は、板橋駅から歩いて5〜6分のほどところにある工務店。及川剛社長は38歳と若いながら、既に創業8年目を迎えている。

この地域には、長年暮らし続けている人が多く、住まいのメンテナンスやリフォームに関するニーズは高いうえ、また、ハ



及川 剛社長

私の工務店経営 1153
東京都北区
こうけんこう
(有)剛建巧



端材で作った椅子とガラス戸を活用した行燈



い計画にすることで費用を抑える。むしろ「木」と技術で保たせてやろうと思っっています」と、技能で顧客満足度を高めようとする姿勢だ。

端材や古い建物の建具を活用した家具・小物づくりも、技能を生かして行っていることのひとつ。「趣味のようなものですが」と及川社長は言うが、要望に合わせて椅子やテーブル

父の元を離れ新規開拓からスタート

及川社長の父親も実

は大工であり、現役の

工務店経営者だ。及川

社長も、かつてはボク

シングに打ち込んでい

たが、20歳の頃に本格

的に大工として修業を

始めた。以来、父親の

元を離れ、工務店勤務

を経て平成17年、30歳

で同社を設立。以来8

年間、顧客との打ち合

わせから見積り、設計、

施工、アフターケアま

で、全ての業務を及川

社長が1人でこなして

きた。

父親の工務店で働き

後を継ぐという選択

肢もあつたはずだが、

「2代目と呼ばれたく

なかつた」ためにあえ

て違う会社で修業し、

独立するという道を選

んだ。父親の後を継い

たのであれば既存の顧

客がいるが、新たに工

務店を設立するとなれ

ば、まず顧客を開拓し

なくてはならない。設

立当初は網戸の張り替

えから包丁砥ぎ、庭の

枝切りや草むしりまで

依頼は何でも引き受

け、知名度と信頼を獲

得。徐々に受注を増や

していった。現在でも、

取材メモ

現役の大工である及川社長は、「道具マニア」を自称するほど道具にこだわっている。古道具市で江戸時代ののみを探して購入したり、東京で唯一残る鍛冶屋でオーダーメイドの道具を作ってもらったりもする。鉋台やのみの柄も手作りで。



会社概要

有限会社 剛建巧
〒114-0023 東京都北区滝野川 7-34-10
TEL・FAX 03-6903-7335
代表取締役：及川 剛
設立：平成17年
http://gokenkou.com/

依頼があれば応えたいし、工事のついでにサービスで行うこともある。

「大工としてのプライドがあるから、下手な仕事はできない」と及川社長はいう。地域の人々にとっても、小さな仕事でもしっかりやってくれる及川社長は頼もしく見えている。